

ちくさんスナップショット

平成 26 年 11 月 第 42 号 株式会社富士飼料

【『若鶏会』（採卵鶏農場後継者の活動）の意義】

農水省の畜産統計によると、H26/2/1 現在の採卵鶏の飼養戸数は前年比 90 戸 (3.4%) 減の 2,560 戸、飼養羽数は 1 億 3350 万 6 千羽 (0.3%増) です (ちなみに日本の人口は 1 億 2700 万人)。■15 年前の H11 年は 5,070 戸、26 年前の S63 年は 12,100 戸でしたので、約 15 年で半減するペースで減少しています。特筆すべきは 10 万羽以上の戸数は 324 戸で全体の 14% ですが、飼養羽数は全体の 70% を占めています。つまり「大規模農場化」が加速しています。

■戸数減は高齢化や後継者不足による廃業が主な理由ですが、小規模ながらも生き残る道はあります。むしろ「小規模だから生き残れる」やり方があるはず。■当社が運営事務局を行っている『若鶏会』は「今までとは違うやり方」「これからのやり方」を一緒に学び、探求していく場として活動しています。11 月も活動実施し後継者同士の交流と知見を深めます。■再生産の喜びと、畜産業の明るい将来の為に、わが社はお客様のそばで出来る限りのお手伝いをして参ります。

【東北支店：二瓶洋一】

【スタッフ紹介】

富士ケーアイサービス業務担当の石崎美由紀と申します。

■大崎市古川出身 ■昭和 54 年 1 月生まれ ■夫、長女 (小 3)、次女 (年長) がいます。

■高校時代から 5 年間弓道をやってきました、三段まで取得済です。

■中国語を 2 年間勉強しましたが今はもう忘れてしまいました、現地で 2 か月短期留学したことが思い出です。

■趣味は中国史と宮城県の郷土史 (特に県北) の本を読むことですが、時間がなく積み本になっています。

■まだ新しい仕事になれるのでせいっぱいです。一つ一つ確実に仕事をこなせるようがんばります！



【業界動向】フィード・ワンホールディングス(株) 設立

10 月 1 日、協同飼料(株)と日本配合飼料(株)は、株式移転により共同持株会社「フィード・ワンホールディングス」を設立し、共にその子会社になりました。

国内人口の減少及び少子高齢化の懸念に加え、TPP 交渉参加に伴う国内畜産業界の不透明性、円安・輸入原料高等、両者を取り巻く事業環境が急速に変化しており、今後、国内市場において更なる競争激化が予想されております。このような状況下、将来的に国内の畜産業界のお客様が安定的な食糧供給を持続する為には、飼料会社の経営基盤を一層強化することが必要との考えから、経営統合の合意に至りました。

各社それぞれにて事業を継続いたしますが、3 年以内を目途とした合併による完全統合を目指します。 【東北支店：二瓶洋一】

【酪農】定例バーンミーティング開催します

皆様の多大なご支援をいただき、弊社 TMR アップル工場も 6 年目を迎えることが出来ました。厚く御礼を申し上げます。飼料情勢等先行き不透明な部分はありますが、お客様へのお役立ちを第一に、そして徹底した品質管理で 365 日 3 工場製造しています。

この度、お客様同士の意見交換や交流、勉強の場を設けたく【バーンミーティング】を開催いたします。11 月 20 日(木)、福島県新地町の水戸牧場様において、アルタジャパン(株)の細野氏を講師に招きます。様々な情報等が期待出来ると思います。参加人数に限りはありますが、ご興味がある方は担当の営業まで問い合わせ下さい。

【宮城県南 TMR 専任：斎藤勉】

【TPP 交渉】 TPP 閣僚会合が閉幕「重要な進展」も厳しい年内合意

日米など 12 カ国が参加してオーストラリアで開かれた TPP 交渉の閣僚会合は 27 日、関税などの物品市場アクセスや知的財産などのルール分野で「重要な進展」があったとの声明を取りまとめ閉幕した。しかし各国の主張には隔たりがあり、目標とする年内の大筋合意は厳しい状況となっている。■日米の閣僚協議も開かれ、甘利明 TPP 担当相は協議後、「まだ日米の決着は見通すことができない」と述べ、決着を持ち越した。また、11 月のアジア太平洋経済協力会議 (APEC) 首脳会議前に、日米の閣僚協議を再度開催する方針を明らかにした。日米の閣僚協議では、難航している農産品や自動車、自動車部品の関税などについて話し合った。「相当な進展はあったが、課題は依然、残されている」と説明。11 月の日米閣僚協議までに政治判断を仰ぐ項目を絞り込むための事務レベル協議を加速させる考えを示した。【産経新聞 10/28 より】 ■TPP 交渉が依然難航の様相ですが、妥協をしない合意を切に望むのみです。

【宮城県南養牛担当：沼田幸朗】

【養鶏】 鳥インフルエンザ：防疫演習 宮城県大崎合同庁舎で 180 人 (10/28)

県北部地方振興事務所と県北部地区家畜保健衛生所などは 28 日、大崎市古川の県大崎合同庁舎敷地で、高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した実動防疫演習を行った。防疫体制の充実・強化を目指して毎年この時期に実施し、今年で 8 回目。関係市町や農協など約 180 人が参加した。■この日は養鶏場などで防疫作業に従事する両所の職員約 20 人が防護服の安全な着方、脱ぎ方を学んだ後、ニワトリの模型を使い、鶏舎で捕まえ炭酸ガスにより殺処分する手順を実践し確認していた。■演習に先立ち、熊本県の職員が今年 4 月に同県内 2 カ所で同時発生した、国内初確認の H5N8 型ウイルスによる鳥インフルエンザを封じ込めた経緯を報告。養鶏農家からの早期連絡、県側の初動対応の重要性を強調した。【毎日新聞 10 月 29 日地方版より】

【東北支店：二瓶洋一】

【鶏卵相場動向】

9 月の東京 M 相場は、月初 210 円から 30 円上伸し月末 240 円、月間平均は過去 20 年で最も高い 231 円となりました。今夏場の最安値 185 円から 9 月末までの上幅は 55 円となり、2000 年からの 14 年間の平均 45.3 円より高くなりました。上昇率で比較すると、今年 29.7%、14 年間平均 30.6%であり、ほぼ例年通りの上昇率です。10/31 現在、9/12 の相場から動かず 240 円です。■加工筋からの引き合いは、引き続き堅調のようですが、極端な不足感も余剰感も無いようです。今後の相場は保合いか若干下げる場面も出るかも？かもしれませんが、その後は年末に向けて上伸すると思われます。

【東北支店：二瓶洋一】

【商品紹介】 明日の楽農を目指すために楽農天国を！

『楽農天国』は、ストレスのかかる現代酪農の乳牛に必要な各種栄養成分をバランス良く給与する事が可能で、高泌乳・高能力を効率良くサポートが期待できる飼料です。

ビタミン、ミネラルを強化しています！ ビタミン A:2,500,000IU/kg ビタミン E:15,000mg/kg ビタミン D3:50 万 IU/kg

乳牛はビタミン A で 75,000IU/日必要と言われていますが最盛期はこの何倍も要求します。βカロテン、アスタキサンチンの添加（抗酸化作用）により繁殖成績、体細胞数の改善が期待出来ます！

〈期待出来る効果〉

- ・ 出荷するバルク乳の体細胞数を低減、健康でキレイな牛乳生産に貢献し出荷乳量も増加傾向へ導き、ロスをなくします。体細胞が高いと 1 頭当り 2kg 以上の生産ロスが発生します！
- ・ 活性化された各細胞が健全な母体を作り、高受胎を応援します。
- ・ ペレット形態で嗜好性も良く、飛散などの心配もありません。

楽農を目指したい方、是非使って見てはいかがでしょうか。

【宮城県北・岩手県南担当：松浦卓也】